

調布市オリンピック・パラリンピック教育の概要

オリンピック・パラリンピックの意義・精神

肉体と意思と精神の全ての資質を高め、バランスよく結合させ、スポーツを文化、教育と融合させ、生き方の創造を追求する。

人間の尊厳の保持に重きを置き平和な社会の確立を奨励することを旨とし、スポーツを人類の調和のとれた発展に役立てる。

調布市教育委員会教育目標 —調布市が目指す子ども像—

- (1) 命の大切さを自覚し、人の尊厳を重んじ、互いのよさや違いを認め合うことのできる力を身に付けた子ども。
- (2) 豊かな心、健やかな体を基盤に、確かな学力に基づいた「生きる力」を身に付けた子ども。
- (3) 自ら社会貢献しようとする意欲をはぐくみ、社会的に自立するための基礎となる力を身に付けた子ども。

調布市におけるオリンピック・パラリンピック教育のねらい ~育成したい子ども像~

- (1) 子どもたちの自己実現を促し、これからの共生社会や国際社会を担う資質・能力を育てる。
- (2) 日本人としての自覚と誇りを身に付け、日本のよさを世界へ示す意欲と力を育てる。
- (3) スポーツや文化が平和な社会の実現と持続可能な社会づくりに貢献できることを理解し、進んで社会貢献する力を育てる。

調布市教育プランより

体力向上への支援

体カテストの結果を分析し、課題を明確にした上で、「一校一取組、一学級一実践運動」や、体育・健康に関する取組を学校全体で展開します。

オリンピック・パラリンピック教育の推進

オリンピック・パラリンピアンとの直接的な交流などを通して児童・生徒の運動やスポーツへの関心や親しみを一層高めます。

平成28年度以降は、4つのテーマを基本に、4つのアクションを結びつけた多彩な教育活動を展開していきます。オリンピック・パラリンピックの学習は、これまで行ってきた教育実践を活用しながら、新たな取組を工夫します。

4つのテーマ

- オリンピック・パラリンピックの精神、歴史
- スポーツ、交流
- 国際理解、日本の伝統文化・芸能
- 環境、ボランティア



4つのアクション

- 学ぶ (知る)
- 観る
- する (体験・交流)
- 支える



平成27年度における小・中学校でのその他の取組例

	オリンピック・パラリンピックの精神、歴史	スポーツ、交流	国際理解、日本の伝統文化・芸能	環境、ボランティア
小学校	<p>学校内における様々なところでのオリンピック・パラリンピックについての学び</p> <p>オリンピック・パラリンピックの紹介パンフレットの作成</p>	<p>体力づくり持久走大会の実施</p> <p>オリンピック (体操 田中理恵氏) との交流</p>	<p>伝統文化の学習 (琴の体験)</p> <p>アイルランドの代表的な料理 (コルカノンなど) の給食</p>	<p>代表委員会の児童が中心となったあいさつ運動の実施</p> <p>地域安全マップの作成</p>
中学校	<p>竹越治夫氏講演会 (1969東京オリンピック誘致〜開催まで)</p> <p>世界のオリンピック・パラリンピックの国の歴史や文化の調べ学習</p>	<p>オリンピック (陸上 為末大氏) 講演会</p> <p>アンプティサッカー体験</p>	<p>川柳コンテスト</p> <p>柔道体験</p>	<p>車いす体験</p> <p>マナー講座によるおもてなしの心を学ぶ</p>

秋元氏からのメッセージ

オリンピック・パラリンピック教育推進に寄せて

平成27年度は、市内小学校8校で講演やボッチャ体験をさせていただきました。言語障害があり、聞き取りづらいであろう私の話を子どもたちが真剣に聞いてくれたことに感謝しています。考え方や行動次第でいくらでも、夢や希望は広がっていくことに気づき、子どもたちが無限大の可能性を広げていってくれることを願っています。

秋元妙美

調布市在住：2012ロンドンパラリンピック「ボッチャ」競技7位入賞



表紙掲載しているポスターを描いてくれた小学生

- ・調布市立第一小学校 5年 竹内 凛さん
- ・調布市立第一小学校 5年 吉田芽生さん
- ・調布市立第二小学校 5年 須賀春奈さん
- ・調布市立上ノ原小学校 5年 菱沼遠太さん
- ・調布市立若葉小学校 5年 岡田優奈さん

調布市のオリンピック・パラリンピック教育

登録番号 (刊行物番号) 2015-251
 平成28年3月発行
 発行 調布市教育委員会
 編集 調布市教育委員会教育部指導室
 〒182-0026東京都調布市小島町2-36-1
 TEL 042-481-7479
 印刷 有限会社アクセスワールド企画

調布市のオリンピック・パラリンピック教育

~調布の子どもたちの輝く未来を応援します~

2020年に東京でオリンピック・パラリンピックが開催されます。調布市では、次のような競技が行われる予定です。すべての子どもたちが大会に様々な形で参加できるよう取り組んでいきます。



調布市で実施される競技

バドミントン



近代五種



7人制ラグビー



車椅子バスケットボール



(このほか、サッカーの実施が検討されています)

オリンピック・パラリンピック教育の3つの視点

すべての子どもに参加の機会を!

すべての子どもたちが、競技の観戦や大会関連ボランティアなどで参加できる機会をつくっていきます。

子どもの未来につながる学習を!

東京2020大会と、さらにその先を見据え、子どもたちに何をどのように教え、体験させるかなどを考えていきます。

体験・交流活動を重視した学習を!

オリンピック・パラリンピックについての知識を習得するだけでなく、実際に体験や活動することを通じて学びを深めていきます。

調布市立小中学校での取組について

調布市立小・中学校の全校が、東京都教育委員会から「オリンピック・パラリンピック教育推進校」として指定され、各校が様々な講師を招へいするなど、オリンピック・パラリンピック教育を推進しています。また、各校の取組をとおして、運動・スポーツに親しむ児童・生徒を育成し、基礎体力の向上を図っています。

オリンピック・パラリンピックの教育の柱

オリンピック・パラリンピックの精神、歴史

平和でよりよい世界の構築に貢献することや豊かな心を育むという目標を踏まえた教育活動です。

スポーツ、交流

生涯スポーツの資質や能力を育てるとともに健康の保持増進や体力の向上並びに障害者スポーツや障害者の理解につながる教育活動です。

国際理解、日本の伝統文化・芸能

異文化理解を深め、異なる文化をもつ々と認め合い、日本のすばらしさ、伝統文化の価値を理解し、発信できることにつながる教育活動です。

環境、ボランティア

環境保全活動の取組や、世界の人々と協働し共存できる持続可能な社会の担い手になっていくことにつながる教育活動です。

調布市の子どもたちには、2020年に東京で行われるオリンピック・パラリンピック競技大会を契機に、世界・スポーツの役割・平和について考え、理解を深めてもらいたいと思います。子どもたちがオリンピック・パラリンピック教育を通じ、これらのテーマや大会について知り、そして接する機会が広がれば、大会の成功はもとより、子どもたちの希望ある未来が拓けていくことでしょう。さあ、共に東京大会を盛り上げていきましょう。

調布市長 長友貴樹



東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機に、子どもたちに日本と世界の国々の歴史・文化・習慣などを学び、交流することを通して国際理解を深めてもらいたいと考えています。そのためオリンピック・パラリンピック競技大会を通して、一人一人の児童・生徒が自らの目標をもって、その目標に努力する意欲と他者を思いやる態度を備えた人になってもらいたいと思っています。市内公立小・中学校全校は、オリンピック・パラリンピック教育推進校として、全ての子どもが大会に関われるよう積極的に取り組んで参ります。

調布市教育委員会教育長 大和田正治



オリンピック・パラリンピックの精神、歴史

滝坂小学校

障害を乗り越えて～パラリンピアンを知ろう～
芝生で体力アップ大作戦
日本の伝統文化を知り、世界に発信しよう

「障害を乗り越えて～パラリンピアンを知ろう～」と題して走り高跳びの鈴木徹氏を迎え、高跳びの演技を見たり、児童の高跳びにアドバイスをいただいたりした。交通事故で義足になった経験を通して感じたこと、考えたことや生きる力についての講演もいただいた。

国領小学校

世界を知ろう 自分を知ろう
2020東京オリンピック・パラリンピック

ロンドンパラリンピックでポッチャ7位入賞の秋元妙美氏を招いて、「勇気とは、自分自身に負けない気持ちを持ち、優しい気持ちをもつことである。」というお話をいただいた。秋元さんの真摯な生き方に共感し、障害がある方に対する考えを変えきっかけになった。

北ノ台小学校

世界の国々を知り、日本の良さを見直そう
オリンピック・パラリンピックに関心をもとう

ゴスペルの指導者NOBU氏を講師に招き、全学年を対象に「ゴスペルワークショップ」を開催した。ゴスペルの成り立ちや人種差別の問題、歴史的背景や自分たちと異なる価値観があることを知ることができた。生演奏を聴くことで、児童の音楽への興味・関心が高まった。

第三中学校

東京オリンピック・パラリンピックを通じ、「平和で元氣な社会づくり」を知る

元オリンピックハンマー投げ選手、室伏由佳氏を講師に招き、全校生徒・保護者対象に「逆境の中でも自分をしっかり保ち自己をコントロールすることの重要性」について講演していただいた。スポーツ界の抱える課題を聴き、生徒たちは厳しい現実を乗り越えることについて前向きな気持ちをもつことができた。

杉森小学校

感じよう! 体を動かす喜びを!!
深めよう! 世界の国々とかかわろう!!

「オリンピックQ様」として、6年生が下級生に意義や歴史、現在のオリンピックの種目等、オリンピックを紹介する取組を行った。「オリンピックに興味をもってもらい、2020年の東京オリンピックをみんなで応援しよう。」という目標パンフレット作りをした。

第八中学校

知ろう。わかって。体験しよう。
オリンピック・パラリンピック

保健体育の体育理論の中で、「国際的なスポーツ大会とその役割」「オリンピックと日本」「行、見る、支える・スポーツとの関わり」というテーマで、スポーツと自身との関わりを意識し、東京オリンピック・パラリンピックに向けて興味・関心が高まった。

国際理解、日本の伝統文化・芸能

第三小学校

世界のマナーを知ろう!
スポーツを好きになろう!

江上いずみ氏を招き、東京オリンピックの会場となる味の素スタジアム近くの学校として国際的なマナーやエチケット、儀礼作法などについて講演していただいた。日本での常識が海外では通じないこともあるということを教えていただいた。

石原小学校

みんなで楽しく、
様々なスポーツに親しもう!!

外国語活動「自己紹介をしよう」の学習の中で世界の国々の文化を調べ、日本の文化も見つめ直し、日本の良さを紹介する活動をした。世界遺産・観光名所から、文化や伝統芸能まで幅広く取り上げ、児童も今まで知らなかったものに興味をもって学習に取り組んだ。

八雲台小学校

できることから始めよう!
スポ育・食育・国際教育!

アイルランド大使館員を招き交流会を行った。アイルランドの舞踊(アイリッシュダンス)を鑑賞し、民話を語っていただいた。代表的な料理を給食の献立に取り入れ、大使館の方と一緒に食べた。別の日には、ポルトガル大使館員を招き、影絵を見せてもらった。各国の舞踊や歌などを体験し、外国の伝統文化に興味・関心をもつことができた。

若葉小学校

若葉小
未来につなげる みんなのわ

平成25年度(2013年度)より、「書くこと」の研究を進めてきた背景を踏まえ、日本独特の文化について日常的に取り組み、豊かで美しい日本語を使えるようにした。また、百人一首や俳句、短歌などの古典に親しむことにも取り組んだ。

富士見台小学校

みんなの体や心で知ろう。学ぼう
オリンピック・パラリンピック

「荒馬座」による獅子舞と日本古来の太鼓のリズムと音色、演奏における踊りを鑑賞することで、日本人としてのあり方の一端を学ぶ機会とした。3年生は、「園工の授業で製作した小い獅子舞を公演の際に公演者と共に合同の舞を披露した。児童の一人一人が楽しさを感じ、日本の伝統文化に興味・関心をもつ機会となった。

調和小学校

知りたい! やりたい!
楽しみたい!

墨汁だけを画材として、太筆、細筆、たこ糸、段ボール、回転台などの用具を用い、墨のにじみやかすれなど偶然に生じる模様を楽しむ造形活動を行った。水分を絞った筆に墨をつける部分を変えて線を描いたり回転台を回して円を描いたり、様々な技法を生かして色紙に墨絵を描いた。

深大寺小学校

世界を知って、
オリンピックを楽しもう

4年生は「育てようやってみようお米の世界を広げよう」と題して、昔ながらの米の育て方や脱穀の方法を学んだ。5年生は「そば作りに挑戦しよう」と題して、そばの育て方やそば作りを手作業で行う方法について学んだ。日本古来の米やそばの生産方法を体験を通して学ぶことによって日本の食文化理解につながった。

第四中学校

先輩から学ぶことを通じて、
オリンピック・パラリンピックを
身近に考えよう

第一学年は「江戸時代の日本を知る」というねらいで「上野・浅草方面への校外学習」を実施し、第二学年は、「鎌倉時代の日本を知る」というねらいで「鎌倉校外学習」を実施し、第三学年は「日本の古都を学ぶ」というねらいで「京都・奈良方面への修学旅行」を実施した。系統立てた様々な学習は段階を経て積み重ねられ充実した学習となった。

スポーツ、交流

第一小学校

チャレンジ!
一小体力アッププロジェクト2015

「夢・未来」プロジェクトの一環で、4年生が調布特別支援学校の児童と一緒に、パラリンピック競技「ポッチャ」の選手と交流した。パラリンピックの理念や価値を理解し、様々なスポーツへの関心を高めるとともに、夢に向かって努力し困難を克服する人々の強さにふれ、障害がある方に対する考えを深めることができた。

多摩川小学校

「もてなしの心」を大切にしよう

6年生が年2回調布特別支援学校の児童たちとお互いの学校を訪問し合い、交流授業を行った。特別支援学校の児童たちが歌や踊りを教えてくれたり、じゃんけん列車や玉入れ等のゲーム遊びやプレイバールンと一緒にしたりして、思いやりを学ぶことができた。

第二小学校

学ぼう。アスリートの心

陸上競技の外部講師としてオリンピック選手を招き、走り方のポイントの実演・指導を行った。運動会前ということもあり、子供たちも熱心に指導を受け、練習していた。運動会へのモチベーションアップにもつながった。

飛田給小学校

元氣いっぱい、笑顔いっぱい、飛小っ子
日本を知ろう。世界を知ろう
なるほど・ザ・オリンピック

アトランタオリンピック1600mリレー5位入賞の大森盛一氏を迎え、大会での活躍や出場までの努力、現在はパラリンピック出場を目指す選手のコーチとして新しい夢を目指しているお話を聞いた。児童のオリンピックへの興味・関心を高め、夢をもつことの尊さを学ぶことができた。

上ノ原小学校

豊かな心・健やかな心
～オリンピック・パラリンピック教育を通して～

FC東京キャラバン隊を招き、全3回の授業で6年生にサッカーの楽しさをコーチングしていただいた。ボールに親しむことや実践で活かせる技術遊びながら身に付ける指導を受けた。児童だけでなく、教師の実践指導も実施していただき、体育の授業改善につながった。

調布中学校

はばたけ
未来のオリンピック選手

サッカー日本代表の長友佑都選手・大儀優季選手の専属トレーナーの木場氏を招き、「世界で活躍するための選手としての体作り」についての話を聴き、実際に全校生徒も体幹・チューブトレーニングを行い良い経験ができた。

緑ヶ丘小学校

～「見る」「する」から「支える」へ～

北京・ロンドンオリンピックに出場した新体操の田中琴乃氏を招き、講演及び実技指導を実施した。努力してきたことや困難を乗り越えてきたこと、夢や目標をもって生きていく大切さについてお話を聴き、オリンピックに対して自分たちができることは何か等を児童に考えさせる機会となった。

神代中学校

知ろう世界のことを
育てようおもてなしの心

第二学年において「車椅子バスケットボール」の競技チーム「グレース」の方を招き、講演会と実際に車椅子体験とゲームを行った。体の不自由な方の活躍から、努力によって見いだされることの喜びや、他者を尊重する気持ちが育まれた。

染地小学校

明日を信じて 自分を信じて
夢に向かって 進もう!!

オリンピック選手を多教育でた日本大学陸上競技部監督の澤村博氏から、6年生の体育の授業で4週にわたり「正しい走り方」を教えていただいた。補助者として帯同した現在国内で活躍する現役のアスリートの走る姿を前にして児童は感激していた。

第七中学校

コーディネーショントレーニングで
心技体を高めよう!!

毎年2回、調布特別支援学校との交流会を行っている。簡単なゲームを行ったり、歌やダンスと一緒に取り組んだりしている。1回目はどのように接するの良か戸惑っている生徒が多数いたが、感想文には有意義な時間を送ったという内容が多く、2回目の交流会では互いに垣根なく交流している姿が多く見られた。

第五中学校

体力アップ大作戦
～体育授業と部活動から～

保健体育の授業の時間に全学年男女共通して「剣道」の授業を実施した。武道(剣道)を通して礼儀やマナー、日本の文化・伝統についての学習を充実させることができた。

環境、ボランティア

柏野小学校

スポーツに親しもう、
世界の国を知ろう

5年生は、12月に地域のしめ縄作りの名人を講師に招き、縄をなう作業から稲わらで正月飾りに取り組んだ。日本の伝統的な正月飾りについて学ぶとともに、稲わらの再利用は、リサイクルの仕組みが暮らしの中に自然に根付き、環境を保全する生活の知恵となることを学んだ。

第六中学校

オリンピック・パラリンピックを
迎えるために、日本の顔になる!!

調布市なぎなた連盟の方々にお願いいただき、生徒も一緒に座礼から始まり、「しかけ応じ」全日本なぎなたの形・防具稽古試合)最後に直心影流の薙刀術等を披露していただきました。その後、生徒たちも実技体験をさせていただき、日本古来の武道の心に触れた会となった。

布田小学校

心と体からオリンピック・
パラリンピックを感じ取ろう

5年生で、地球環境問題を取り上げ、温暖化や干ばつ、砂漠化など環境問題に対して児童一人一人がテーマを決めて調べ学習をした。それぞれの問題の原因や解決方法について、自分なりの答えを探ることができた。